

偽りの自己の分解（古い人を脱ぎ捨てる）

1. イエスのチャレンジ

📖 「イエスは言われた。「もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」」マタ 19,21

- 金持ちの青年の自己理想像：すべての掟を守っている完璧な人間（ユダヤ教徒）
- 金持ちの青年の現実の自己：お金に頼って生きることによって、神から離れている人間
- 金持ちの青年がイエスのもとに来た動機

A: 意識していた動機： 永遠の命への道を教えてもらうこと

B: 本当の動機： 誉めってもらうことによって自分の生き方を確認すること

📖 「あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすために来たと思うのか。そうではない。言っておくが、むしろ分裂だ。」ルカ 12,51

📖 「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。」ヨハ 14,27

- 私たちは、本当にイエスを受け入れるならば、イエスは私たちが代わりの必要性を満たした（安全、愛情、権力の象徴を得た）ことによって作り上げた安定を保つのではなく、私たちの問題を表すことによってそれを壊します。

📖 「もし、右の目があなたをつまづかせるなら、えぐり出して捨ててしまいなさい。体の一部がなくなっても、全身が地獄に投げ込まれない方がましである。」マタ 5,29

📖 「もし、だれかがわたしのもとに来るとしても、父、母、妻、子供、兄弟、姉妹を、更に自分の命であろうとも、これを憎まないなら、わたしの弟子ではありえない。」ルカ 14,26

📖 「だから、同じように、自分の持ち物を一切捨てないならば、あなたがたのだれ一人としてわたしの弟子ではありえない。」ルカ 14,33

📖 「わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりも息子や娘を愛する者も、わたしにふさわしくない。また、自分の十字架を担ってわたしに従わない者は、わたしにふさわしくない。自分の命を得ようとする者は、それを失い、わたしのために命を失う者は、かえってそれを得るのである。」マタ 10,37-39

2. イエスのチャレンジを受ける理由と動機

- a. 感情のプログラムは（周りの物や人間、さらに神（宗教）を利用しながら）、本当の幸福ではなく安定感（感情面でのバランス）を得るために、私たちの理性や意志を無視して働き、私たちから幸福を奪い取るものです。

📖 「洪水になる前は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていた。そして、洪水が襲って来て一人残らずさらうまで、何も気がつかなかった。」マタ 24,38-39

- イエスのチャレンジ（招き）を拒否して、偽りの自己の支配下に留まる人は、真の危険性を意識しないので、安心したまま滅びに向かって生きる恐れがあります。

- b. 感情のプログラムから自由にならない限り、

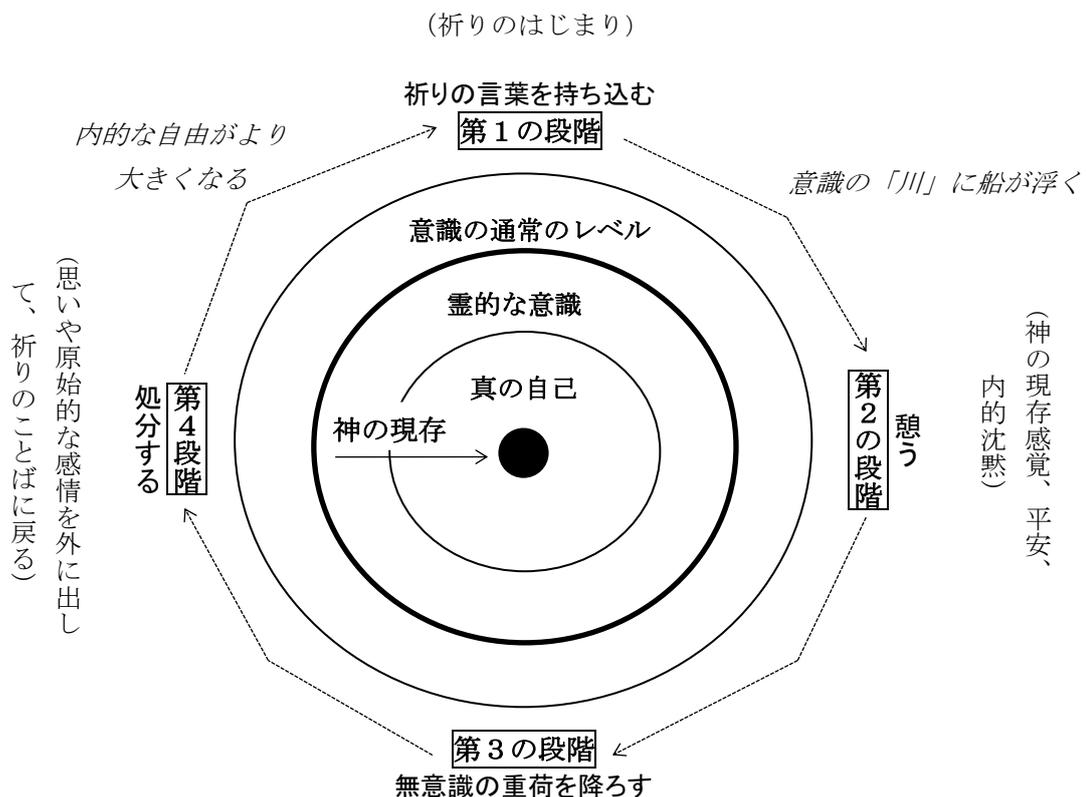
- 他人のために生きる意志があっても、他人の本当の必要性を見出すことができないし、真の善を行うこと、つまり愛することができません。
- 他人はより簡単に私たちの感情（気持ち）や行動を支配する（操る）ことができます。

- c. 感情のプログラムを取り消す（偽りの自己の死、古い人を脱ぎ捨てる）ことは、

- イエスの真の弟子になる条件
- キリストの似姿に変えられる（変容される）唯一の方法です。

3. 感情のプログラムの影響（偽りの自己の支配）を弱める方法
 - a. 感情のプログラムの存在（偽りの自己によって支配されている事実を）を認めて、それを知ること。
 - 私たちの感情が、私たちを動かす価値観や期待、欲望など、つまり私たちの感情のプログラムを忠実に表しますので、自分の無意識にある価値観や期待が分かるために、自分の感情（特に望ましくない行動をさせる感情）を調べる必要があります。
 - b. 感情のプログラムの期待、価値観、また、それによって起こされる感情と同一視（混同）しないこと（この価値観も感情も私ではない！）
 - c. 起こる感情を流す（無視する・手放す）こと
 - d. 潜在意識が与えるコメント、解説、想像を変えること（active prayer、射祷）
4. 感情のプログラムを取り消す（偽りの自己の支配から解放の恵みを受け入れる）方法
 - a. 友情（愛）に誠実に生きること
 - b. センターリングの祈り（centering prayer）を忠実にを行うこと

◆ センターリングの祈りによる無意識の浄化



(深い憩いの結果、自己防衛の仕組みが緩くなって、今まで消化されなかった初期人生の感情的な重荷が、思いや原始的な感情という形をもって、無意識から出て来る)

この過程において、無意識に抑えられた感情的なゴミという障害物が外に出されますので、4つの段階の新しい循環が、より中心（神の現存）に近いレベルからはじまります。こうして、自分の内に神の現存が発見されるまで、さらに神との一致が完成されるまで無意識の浄化が続きます。

◆ 自分の生活から具体的な例を思い出して以下の質問に教えてください。

1. いつ、どんなところで、誰がいるとき、何があるときに安心していただけますか。なぜ。

2. いつ、どんなところで、誰がいるとき、何がある時に不安を感じていますか。なぜ。

3. 幸せだと感じるのはどんなときですか。なぜ。

4. 悲しくなったり、落ち込んだりするのとはどんなときですか。なぜ。

5. 悲しい時や落ち込んでいる時は、どこで、または誰に、何に慰めや励ましを求めていますか。

6. 失敗や失望した後、または騙されたり、裏切られたりした後は、何を感じていますか。
この感情はどんな行動を起こしますか。
